

事業概要	<p>当社は秋田県発のローカルベンチャーとして、地域の資源や魅力を開発・再発見することで新たな価値を創出し、内外に発信していくことを目的に活動しています。具体的には、「地方発ビジネス工場」をキーワードに地域資源を活用した製品やサービスを展開しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 化成品事業 自社開発品である除菌消臭水iPOSH「アイポッシュ」を中心に、洗浄水iWASH「アイウォッシュ」や薬用スキンミルクPharmal「ファーマル：医薬部外品」などの開発および販売。• シェア事業 木材倉庫をリノベーションした「みんなの体育館」にて、各種スポーツ教室の実施場所の提供や、時間貸しプライベート体育館の提供。また、シェアキャンピングカーやシェアレストランなども展開。• DX事業 DX導入を先駆けて自社で実施し、県内企業への導入サポートの提供。• プレスリリースサービス事業
部署	技術知財部製品開発室
所在地	〒010-0962 秋田県秋田市八橋大畑2-3-1WhiteCube1F
連絡先	(電話番号)018-838-6943 (E-mail)y.mukouda@lpower.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>(ローカルSDGsを通して実現したい社会像)</p> <p>各地域に潜在する価値を活用し、地域だからこそできるビジネスがその地域で興りやすい環境や風土を創ることで。そのために、自社の活動を通じて実例を示し、より幸福度の高い地域社会を実現したいと考えています。その過程において、以下のSDGs実現に取り組めます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 目標1「貧困をなくそう」および目標8「働き甲斐も経済成長も」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」 現在眠っている地域資源の活用により、地域から生まれる付加価値を大きくしていくこと、それにより地域ビジネスの数と規模が拡大することで雇用と賃金の底上げに貢献して課題解決に取り組めます。 ※地域資源(自然環境、人、地域企業の技術、稼働停止工場などの休眠資産など) また、地元企業の保有する知的資産についても、企業同士の新たなつながりをつくり、共同活動を活発化することで働くことの意義と対価を高めていきたいと考えています。

環境省ローカルSDGs
を通じて、実現したい
社会像

2. 目標11「住み続けられるまちづくりを」および目標12「気候変動に具体的な対策を」
空き家や空きスペースの再活用により、新たな人やモノの流れをつくり出し、地域生活をより豊かにしていきます。具体的には、空き倉庫を活用したシェア体育館や未利用のビル屋上をフットサル場に改装する取り組みなどを行っています。既存資源の活用によって資源循環に取り組めます。
3. 目標14「海の豊かさを守ろう」および目標15「陸の豊かさを守ろう」
秋田県は、秋田杉のブランドが知られているように非常に森林資源が豊富であります。しかし、森の管理者が減少して間伐などの手入れが出来ず、荒廃が進んでいます。単純な伐採だけでなく、持続的かつ健全な森を維持するように原木を生産する林業のスタイルを構想しています。それにより、失われつつある里山のような機能を蘇らせ、健全な森が生む良質な水によって海の環境にも良い影響をもたらすように取り組みたく考えています。
4. 目標16「平和と公正をすべての人に」
主力商品であるiPOSH「アイポッシュ」の売上の一部を認定NPO法人テラ・ルネッサンスへ寄付しています。同法人は地雷問題や子ども兵の課題に取り組んでおり、支援を通じて平和な社会の実現に今後も寄与していきたいと考えております。

上記の通り、SDGsの目標達成を通じて地域資源の活用や開発を行い、地方だからこそ誇れる生き方や社会をつくり、地域ならではの価値を世界に発信していくことを目標としています。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野 農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／健康・福祉
	<p>健康・福祉、農林水産業 ソリューション: 地域の人的・物的資源を活用した開発により、保健衛生や農業に係る革新的なサービスを生み出す。効果: 地元秋田県を中心に、衛生環境においてより安心できる環境を作り出す。また、雇用創出や産学連携を活性化する。 具体例: 除菌消臭水iPOSH「アイポッシュ」に用いている製法特許をさらに発展し、非常に高純度な次亜塩素酸水を生成する技術を開発しています。それにより、医療や農業への展開に取り組んでいます。例として、化粧品などの製造工場を新たに立ち上げる上で雇用を創出し、地元協力会社への技術提供を通じて付加価値の向上に貢献すべく活動しています。また、医療や農業への展開として、秋田大学医学部や秋田県立大学との共同研究を行っており、地域の知的資産の相互連携によって価値創出に取り組んでいます。特に、稲作で有名な秋田県において、より環境負荷の小さい製品(農薬や特定防除資材など)の提供によって、環境保全と地域活性の両立に貢献していきます。</p> <p>サーキュラーエコノミー ソリューション: 地域の未活用資産を活かして事業を創出する。 効果: 廃棄(されるはずだったもの)に伴う環境負荷や新設のための資源消費を抑制。また、休眠資産(建物や土地、森林などの資源)の活用による環境負荷の小さい経済活動の推進。 具体例: 秋田市の中心部に位置しながらも、使われなくなった木材倉庫をリノベーションし、地元住民で利用できるシェア体育館を実現。少年フットサルチームの練習やラート教室など場所の確保に困っているというニーズに応える形でリリースしたサービスのため、営業時間の利用率はほぼ100%となっており、地域の休眠資産の再活用となりました。</p>
	URL https://www.value-press.com/pressrelease/231269 秋田のベンチャー企業が次亜塩素酸生成技術で、世界的シンクタンクFrost&Sullivanの『2019ベストプラクティスアワード』を受賞-株式会社LocalPowerのプレスリリース(value-press.com) https://www.akita-abs.co.jp/blog/radipal/archives/34153 ラジパル日記★みんなの体育館やばせ-ABS秋田放送(akita-abs.co.jp)
上記ソリューションを提供できる地域について	全国

自者の特徴

当社は、地方だからこそできるビジネスを展開し、地方の人やモノ、資源をつなぎ、新たな価値を提供すべく活動しております。

主力商品となっているiPOSH「アイポッシュ」は、現製品の製造において県内の休眠工場を有する企業に委託することで相乗効果が得られております。また、成分である次亜塩素酸水の他分野展開を進めており、地元大学との共同研究によって製品開発を行っています。具体的な成果として、秋田県立大学との共同研究において次亜塩素酸水の農業利用に取り組んでおり、その研究成果が日本植物病理学会で学生優秀発表賞を受賞しました。

(<https://www.akita-pu.ac.jp/kenkyuseika/kenkyuseika2021/6819>)

本学大学院生が日本植物病理学会で学生優秀発表賞を受賞しました - 秋田県立大学 (akita-pu.ac.jp)

なお、当商品について以下の評価を得ています。

米国大手調査会社 Frost & Sullivan (本社：米国カリフォルニア州)による『2019 ベストプラクティスアワード』において、特許取得次亜塩素酸生成技術の高い品質や安全性・革新性が評価され、『Asia-Pacific Inorganic Disinfectants for Healthcare Industries New Product Innovation Award』を受賞しました。濃度が低下して安定しなかった次亜塩素酸を特許製法で安定化させたことや、医療、畜産、農業、食品、企業や家庭などで幅広く活用が期待されることが高く評価されました。

このほか、シェア事業ではシェア体育館やシェアキャンピングカーに続く案件を継続して開発しており、地域生活のQOL(Quality of Life)向上に取り組んでいます。また、DX事業としては県内において先駆けになるべく取り組んでおり、地域企業の経営環境改善を目標に進めております。

既存の事業領域にとらわれることなく、地域資源の活用による地域課題の解決を事業として、地元ならびに全国へ価値提供するサービスを生み出すことを目標としております。

SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

社内において、SDGsへの理解深度を高めることが課題となります。SDGsとはいったもので、自分たちが主体的に取り組むにはどうすれば良いのか、社員各個人が自分なりのイメージを持てるようになっていく必要があると考えています。また、取り組みを理解した上で、実行と習慣に移行していくことが必要です。

現時点では、SDGsを知識として認識している段階のため、事例紹介を交えた情報共有によって社内での認知度を高め、実行していくことを推進したいと考えております。また、日常の業務においてSDGsの取り組みを実践し、新たなプロジェクトの価値基準の一つにSDGsを据え置くことで企業風土に組み込んでいくことを目標としています。